

超高齢社会を

生きるために

心地よく

必要なこと

京都大学こころの未来研究センターでは、2014年10月より京町家（風伝館）で「くらしの学び庵」を開講しています。今回は、「くらしの学び庵」の拡大版として、「心地よく生きていくために必要なこと」をテーマに講演会を開催します。心身共に健康で幸せに、楽しく年を重ねるために必要な知識を学んでみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

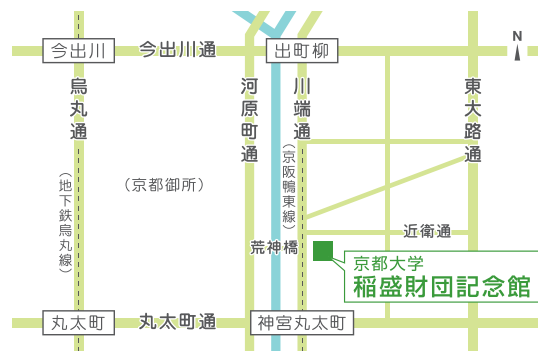
2016年3月27日(日)
13:00～17:15
(開場12:30～)

京都大学稲盛財団記念館
3階大会議室

(京都市左京区吉田下阿達町46)

■ プログラム

- 13:00～13:10 開会あいさつ
吉川左紀子(こころの未来研究センター 教授・センター長)
- 13:10～13:40 ぐらしの学び庵 総括「こころ・からだ・ぐらしの学びの足跡」
清家理(こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門 特定助教)
- 13:40～14:20 ぐらしの学び庵 特別講義①
「いきいき毎日を過ごすために必要な健康づくり」
荒井秀典(国立長寿医療研究センター 副院長)
- 14:20～14:25 休憩
- 14:25～15:05 ぐらしの学び庵 特別講義②
「認知症と診断されたらー医療者と本人、家族が共に考えたいことー」
櫻井孝(国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長)
- 15:05～15:10 休憩
- 15:10～15:50 ぐらしの学び庵 特別講義③「よりよく生きるための笑・唱・掌」
三宅聖子(東京都渋谷区障害者福祉センター 施設長)
- 15:50～16:05 休憩
- 16:05～16:15 京都市よりみなさまへ
西川保子(京都市保健福祉局長寿社会部 長寿福祉課 担当課長)
- 16:15～16:25 京都府よりみなさまへ
山本勇人(京都府健康福祉部 高齢者支援課 担当課長)
- 16:25～17:05 ぐらしの学び庵 Q&A編「心地よく生きるために今日からできること」
司会: 吉川左紀子
回答者: 荒井秀典・櫻井孝・三宅聖子
西川保子・山本勇人・清家理
- 17:05～17:15 閉会あいさつ
松林公蔵(東南アジア研究所 教授)



対象: どなたでもご参加いただけます。
定員: 150名
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
参加費: 無料(※要申込み)

■ 申込方法

FAX、またはメールで下記までご連絡下さい。
件名に「学び庵シンポジウム 申込み」と明記し、
必要事項を記入の上、ご送付ください。

■ 必要事項

①氏名(ふりがな) ②所属・職名 ③ご連絡先
※定員に達し、ご参加頂けない場合のみ、
ご連絡差し上げます。

■ 申込先

京都大学こころの未来研究センター
リエゾンオフィス
FAX: 075-753-9680
MAIL: kokoro-event-2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
申込締切日: 2016年3月18日(金)まで



【お問い合わせ】京都大学こころの未来研究センター・リエゾンオフィス(平日9時～17時)
TEL: 075-753-9681 FAX: 075-753-9680 MAIL: kokoro-event-2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

主催: 京都大学こころの未来研究センター
後援: 京都市、京都市教育委員会、京都地域包括ケア推進機構(予定)、京都府(予定)、
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、文部科学省 地(知)の拠点 整備事業(50音順)